

五〇周年を機に新たな道を

平成二十八年元旦

理事長 平山 良一



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、政府の景気が良くなっているという発表と実態は離れ、不景気かつコスト圧迫等による難しい環境でした。上流から下流へと流れる景気回復策では本当の好景気は何年も先になるのではないのでしょうか。中小企業に対する景気対策を望みたいところです。しかし、ただ待っていても現実が変わりません。そこで、私見ですが実質税率が下がる今後、我々も歯を食

いしばって納税をしていくのはどうでしょう。

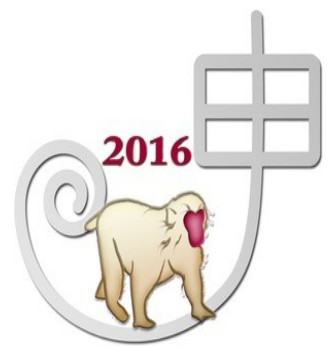
税率は三〇%を切ります。言い換えれば、三割コストを払えば、残りは自由に使える資金となります。投資に回す、経営に使うなど、前向きに考えられます。中小企業の八割が赤字

申告という現状を変え、我々で景気を好循環にすることがひいては自分のためになると思うのです。さて、組合の活動ですが、昨年委員会を一新して、目的別に組織しました。すなわち、組合員の技術向上を目的とした技術委員会、組合員の知識向上を目的とした研修委員会、組合の活動を内外に知ってもらい活性化につなげるイベント委員会、組合員の増大を目的とした拡大委員会の委四員会と、従来からの組合員交流

の場である西、東の支部会です。

この新しい委員会体制は残念ながら今のところ成功したとは言えません。今までの委員会体制が二十年以上も続いてきたために、各委員長が戸惑っていることもその理由の一つです。もう一つは各理事や委員の自覚と責任によるところが大きいのですが、この点が理事長としての指導力に問題があり、大いに反省しているところでは

また、二十年以上据え置きになっていた組合賦課金についても今年の四月より見直すことが理事会で承認され、現在新しい賦課金の抜本的な見直しが行われています。組合事業を執行するにあたっては、財源が裏付けとなりますが、この二十年間



の物価の上昇や組合員の減少によって、組合財政は窮地に陥っています。

組合としても財政の立て直しに以前から取り組んでおり、人件費の大幅な削減や、支出の徹底的な見直しを図ってきましたが、これにも限度があり、賦課金の見直しに着手したものです。組合は昭和四十一年の創立以来、今年で創立五十周年の佳節を迎えます。この間七人の理事長が組合発展のために心血を注ぎ、歴史ある現在の組合があることを、我々は決して忘れてはなりません。

今年には六十年に一度の丙申年です。丙とは形が明らかになっていくという意味があり、申は果実が成熟して固まっていく状態を指し、明るい年になるとも言われています。

組合員および会友、そして協賛会の皆様には昨年以上に組合活動に参加していただき、一緒に成長してまいりましょう。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

専務理事 本間敏道



明けましておめでと
うございます。

昨年は平山体制が二期目に入り、いよいよ真価が問われる年になりましたが、組合を取り巻く環境は依然として厳しく、組合運営も思った通りに行かなかったのが現実です。

副理事長として活躍していただいた近藤健司氏を失ったことも組合にとつては大きな痛手でした。

組合は現在二十年間据え置いてきた賦課金の見直しをしており。新年度から改訂を実施したいと思っております。財政基盤のない組合事業は絵に描いた餅に過ぎません。財政基盤の裏付けがあつてこそ、真の組合運営が出来るのです。

どうかこうした事情をご理解頂きますよう何卒よろ

しくお願いいたします。組合は今年昭和四十一年の発足以来、五十周年という佳節を迎えます。わずかに十九社で発足した組合が半世紀という歳月の中で、歴代の理事長や組合役員、組合員、協賛会の方々のご指導、ご協力の下で今日を迎える事が出来ました。

同か今後とも組合に対しまして、これまでと変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

東京都中小企業団体
中央会会長 大村功作



明けましておめでと

うございます。皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。併せて、昨年中の本会への格別なるご支援、ご協力に厚くお礼申し上げます。

昨年の我が国経済を顧みま

すと、中国経済の景気減速などに伴う輸出の減少、世界同時株安、低調な消費者マインド等の不安要因がありました。一部の大型企業を中心に中間決算で純利益の著しい伸びがあり、期待を大いに抱かせました。しかし、本会の情報連絡員報告では、本会員である中小企業組合に属する中小企業・小規模企業の売上高・収益状況・業界の景況は、依然として厳しく、先行きの展望が開けないという意見が多く寄せられました。

助金」を創設しました。組合を通じての企業における事業承継・事業継続への積極的な取り組みを支援するとともに、その他の既存補助事業についても、今後は、さらに使い勝手が良くなるよう東京都及び都議会に対して働きかけていきたいと考えています。

そこで本会では、こうした状況を踏まえ、革新的な設備投資やサービス・試作品の開発、生産・業務プロセスの改善等を支援する「もづくり・商業・サービス革新補助金」の継続実施と併せて、平成二十九年四月に実施する消費税率の再引き上げ時に小規模事業者に事務負担等が煩雑になる複数税率を導入しないことを要望したところです。

一方、東京都は、平成二十七年より「団体向け小規模事業者持続化支援事業補

本年はオリンピックが開催されます。そして、四年後に迫った東京オリンピック・パラリンピック開催成功に向け、本会として、引き続き一層の協力を行うつもりです。

四年前のロンドン・オリンピックは中小企業が経済効果の七〇％を獲得したといわれています。中小企業の活躍が成功に導いたといっても過言ではありません。

東京オリンピック・パラリンピックの経済効果は二〇兆円といわれています。会員団体・企業の活躍の場を設けるとともに、インバウンド効果を上げるためにも地方との連携、協力が必要で、私が昨年六月全国中小企業団体中央会の会長に選出していただいたことを活

かし、経済効果が全国に波及するようオール中央会で取組みたいと思っています。また、組合所属の女性経営者や組合女性役員を会員として、昨年発足した「東京都中小企業団体レディース会」につきましては、情報交換の場を通じたネットワーク作りやビジネスチャンス創出に繋げていただきたいと考えていますので、奮って参加されることを期待しています。

さて、今年の干支は申（さる）です。また、六〇年ぶりの「丙申（ひのえさる）」です。「丙」は、「物事の本質が明らかになる。」という

意味で、「申」は「伸」の意味との文字で、「果実が成熟し固まってく」という意味があります。これまで、努力してきたことが実を結ぶ年になるとのことです。皆様、相互扶助の精神のものと一致団結され、難局に打ち克ち大いに発展されることを心から願っています。本会は、今年も引きつづき組合巡回、相談業務、さらに各種事業の効果的実施に努め、皆様のお役に立てる

協賛会長 大内 昭彦



明けましておめでとう

ございます。旧年中は協賛会各社をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。本年も引き続き、よろしくお願いいたします。

さて、昨年の景気動向を振り返りますと、米国の好調や円安効果などによって、夏場までは上向いていくムードがありました。徐々に中国経済の減速が鮮明になり、停滞感が強まってきました。しかしながら、そうした中であって

中国、東南アジアなどからの訪日外国人観光客によるインバウンド効果は、シール・ラベル業界にも好影響を与えたと感じております。ポーターレス、あるいはグローバルゼーションという言葉が広く使われるようになって久しいですが、日本でも外国人の姿を街で見かけることは珍しくなくなりました。東京だけでなく地方都市でも、ホテルの客室不足が深刻になり始めているようです。四年後には東京オリンピック・パラリンピックが開催されることもあり、訪日外国人の数は今後ますます増加していくことが予測されます。

最近、私たちが日頃から目にしている案内標識や駅名表示などは、日本語表記だけでなく英語、中国語、あるいはハングル語なども併記されるようになってきています。訪日外国人に対する免税対象品目が拡大したことにより、日用品、食品、化粧品、家電製品、医薬品などの表示ラベルやPOPについても同様の対応が求められてきます。お土産

産としても多く購入されるこれらの商品については、あくまでメイド・イン・ジャパンであるということに大きな価値がある訳ですので、プレ印刷ではなく、日本語表記のラベルにプラスして外国語表記をすることが効果的です。例えばそこにも、再剥離タイプなどのシール・ラベルの新たな需要があると考えています。少子高齢化やそれに伴う人口の減少、あるいは堅実な個人消費といった日本の現状と将来を鑑みると、こうした外国人需要を確実に取り込みたいというのがブランドオーナー各社の思いではないかと考えます。今の時代、変化を起こすのに欠かせないのは“少量・多品種対応”であり、それがまさにシール・ラベルが最大限に強みを発揮できる分野です。業界として、ぜひこのチャンスをもものにしていきたいと思う次第です。最後に皆様のさらなる活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

今年度最後の支部会(忘年会)を開催

事業承継セミナーの最終回として

今年最後の合同支部会が、十二月三日(水)午後四時半、台東区上野公園内の「グリーンパーク」にて開催されました。

午後四時半からの第一部のセミナーでは、事業承継セミナーの第三弾として「事業承継に必要となる本場の訳」と題して、業務支援・清宮企画の清宮和夫氏が講演を行いました。

最終回となる今回は過去二回のセミナーを踏まえて、組合員の過去十年の変遷について、廃業したところ



事業承継セミナーの最終回風景

る、事業承継したところなどの具体例をあげながら、事業承継してうまくいっているところ、上手くいかなかったところなどについてその原因などについて掘り下げて説明しました。東京都の事業継続支援事業として、八月と十月、それぞれ今回と三回にわたって開催した事業承継セミナーは、大きな成果を上げるこ

第一〇五回ラベル会は、十二月十六日(水)に、千葉県佐倉カントリー倶楽部に於いて組合員六名、協賛会六名の十二名、三組で開催されました。

当日は暖冬の影響でぽかぽか陽気となり、朝八時から、このスタートにもかかわらず、これ以上ないというゴルフ日和でした。

アップダウンのきついコースにも関わらず、見事日

大澤雅純(日弘プリント)が大澤雅純氏(日弘プリント)の大澤雅純氏が並み居る強豪、実力者を制して初優勝しました。

■優勝・大澤雅純(日弘プリント)四九、四六、HD二二、七三 ■二位・松岡隆(坂崎彫刻)四四、五一、HD十六、七九 ■三位・清宮和夫(清宮企画)四四、五〇、HD十四 八〇 ■BB賞・植田治司(丸吾)四四、五六。HD十二、八八

第105回ラベル会 佐倉カントリー倶楽部

大澤雅純氏(日弘プリント)が初優勝



セミナー終了後、別室に於いて恒例の忘年会が開催され、初めに先日亡くなられた近藤健司副理事長に黙とうを捧げ、平山理事長が「今年一年本当にお世話になりました。組合も厳しい環境下にあります。来年もみんなで協力して頑張っていきたいと思えます」と挨拶しました。

その後、弓納持副理事長代行の音頭で乾杯し、ビンゴゲーム出は、相変わらず商品が当る度に完成が沸きにぎやかな宴となりました。

環境優良工場表彰の募集を開始 小規模事業所を対象にした部門も

日本印刷産業連合会で、今年も印刷環境優良工場表彰の募集を開始しています。

平成二十八年度第十五回環境表彰制度は、前回と同様に第一次審査と第二次審査に分けて行います。

また、応募工場従業員数が二九人以下（かつ企業全体従業員数四九人以下）の事業所を対象に表彰する「小規模事業所振興部門」を設けています。制限のない部門を「一般部門」としています。

【平成二十八年度 第十五回印刷産業環境優良工場表彰募集要項】

1. 表彰の種類

- (1) 経済産業大臣賞（申請中）
- (2) 経済産業省商務情報政策局長賞・小規模事業所振興部門あり・（申請中）
- (3) 一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞・小規模事業所振興部門あり
- (4) 一般社団法人日本印刷産

- (1) 印刷産業環境優良工場表彰応募票・第一次審査用一
- (2) 印刷産業環境優良工場表彰応募票・第一次審査用一

NEW

※所属団体別の応募票

になります。(1)印刷産業環境優良工場表彰応募票・第一次審査用・NEW
※所属団体別の応募票になります。

応募の手続き

(1)印刷産業環境優良工場表彰応募票・第一次審査用一

① 応募票は、本ホームページ（上記または下記）からダウンロードできます。

② または所属する会員団体事務局に請求して下さい。

(2) 応募の方法

① 表彰制度に応募する工場は、必ず所属する団体の第一次審査用応募票を提出して下さい。

② 第一次審査を通過した工場が第二次審査用応募書類を提出することができません。（該当工場には当連合会から二月中旬に通知します）

③ 過去に印刷産業環境優良工場の表彰を受けた工場は、第一次審査を免除します。

(3) 提出先

応募書類は、所属する会員団体事務局または当連合会宛一通提出して下さい。

当連合会へはEメールも可（押印の上、PDFに加工し提出して下さい。）

提出して下さい。）

提出して下さい。）

提出して下さい。）

提出して下さい。）

提出して下さい。）

提出して下さい。）

提出して下さい。）

提出して下さい。）

提出して下さい。）

提出して下さい。）

提出して下さい。）

提出して下さい。）

提出して下さい。）

提出して下さい。）

提出して下さい。）

提出して下さい。）

提出して下さい。）

e-mail:info.dm@jfpj.or.jp

(4) 提出期間

平成二十七年十二月一日

(火)～平成二十八年一月二十九日(金)

※これに遅れますと第二次審査に進めませんのでご注意ください。

※受賞工場以外の応募工場名の公表は一切行いません。

④ 第二次審査 提出書類 (正1通、副2通)

(1)印刷産業環境優良工場表彰応募票一第二次審査用一 (WORD 文書/準備中)

(2)工場全体、各作業場、環境関連施設及びその他記入項目に関する写真(別綴じ) 応募の手続き

(1)応募することができない工場 (次の内のいずれか)

① 第一次審査を通過した工場 (該当工場には当連合会から二月中旬に通知いたします)

② 過去に印刷産業環境優良工場の表彰を受けた工場

(2) 応募書類の入手

① 第二次審査対象工場には、当連合会から応募書類の入手方法をご連絡します。

※連合会ホームページ

<http://www.seal.gr.jp/>

三起機械(東大阪市高井田五の四の三九 〇六・六七八七〇一六一)では、間欠オフセットラベル印刷機「SOF-300」を発売以来、各方面で好評を博している。

■最新の技術・装備「ガイドレス」

同社では、作業効率に著しく悪影響を及ぼす「紙ガイド」を装着しておりません。長年の技術蓄積と蛇行修正装置を装備し、発生する問題を解決致しました。これにより、お客様の作業項目から紙替えの手間と糊のメ

ンテナンスを取除きます。載したもので、長年培ったテクノロ

ジーに独自のなアイデアをプラス。ベストプロポーションをも兼ね備えたS A N K I 最高位モデルです。

ラ UV 乾燥装置(空冷3.6kw) 水循環装置一式 版ネジレ修正装置 PS 版専用パンチング装置

コールド箔装置 インライン UV ラミ装置 この他にも同機はダンサーローラー装置、蛇行修正装置、カラー液晶タッチパネル、水循環装置、三起オリジナルの乳化地汚れ防止機能、EASY 版貼り機能、EASY ブランケット機能、インラインラミネート装置、フレキシオニスユニット装置、ダイカッターユニット装置、PS 版専用パンチング装置、インライン糊面印刷装置など多くの特徴を持っている。機械仕様は、

紙巾=120mm ■最大印刷幅=280mm ■送り量=120mm ■印刷速度=245shot/min(送り寸法により制限あり) ■巻出し/巻取り=550mmφ ■色数=2~9

■最大紙巾=300mm ■最少紙巾=120mm ■最大印刷幅=280mm ■送り量=120mm ■印刷速度=245shot/min(送り寸法により制限あり) ■巻出し/巻取り=550mmφ ■色数=2~9

装置 カス巻上げ装置 裏刷専用ユニット装置(レタープレス方式) インライン糊面印刷装置 インライン

■機械寸法=L7000mm×W860mm×H1570mm(5色+ダイカッター)

詳細はホームページで。

<http://www.sankikikai.co.jp/product/index.html>

間欠オフセットラベル印刷機「SOF-300」 ガイドレスと豊富なオプション装置も



終わり無き technology innovation を求めて